

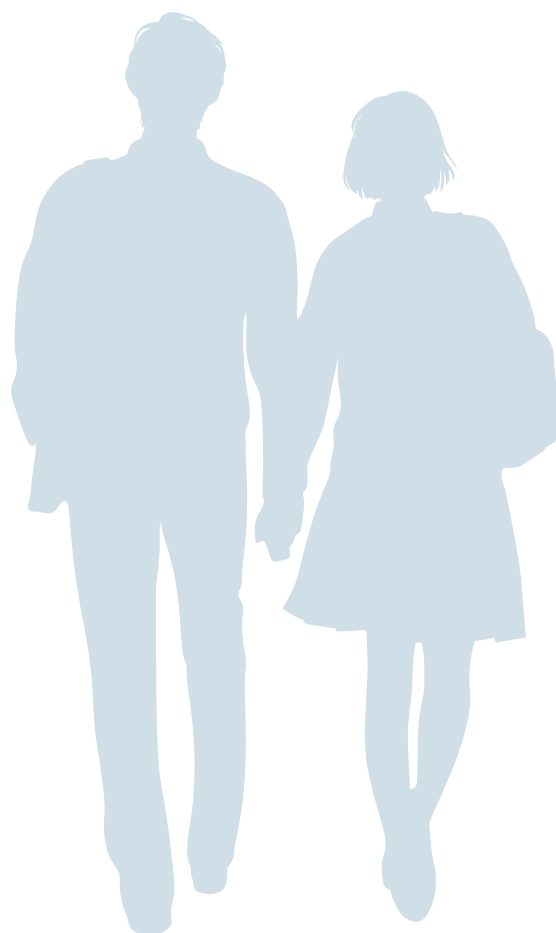
デート

DV

VOL.5

白書

全国デートDV 実態調査報告書



I 調査の概要

1. 調査の目的

デート DV（恋人間の暴力）は、10 年ほど前から全国のそれぞれの地域で予防啓発が始まっているが、本格的な防止対策がなかなか進んでいないのが現状である。交際相手や元交際相手からの暴力によって若い女性が命を奪われるという悲しい事件が後を絶たない。また、デート DV が望まない妊娠、さらには児童虐待につながるケースもあると考えられる。これまで、地域ごとの実態調査や成人を対象とした全国調査はあったが、若年層への実態調査がまだ全国規模では行われていない。

本調査では、若年層への全国実態調査を行うことで、効果的なデート DV 防止対策を検討することを目的とする。

2. 調査の方法

① 調査対象

調査対象は、デート DV についての予防教育を受講した中学生・高校生・大学生で、予防教育のプログラム終了後にスタッフの依頼に応じて回答した。謝礼の提示はしておらず、調査開始時に文書と口頭で説明合意を得た。

2868 人に配付したところ、回収は 2825 人（回収率 98.5%）であった。

本調査では、回収した調査票において、調査に「協力する」と答え、なおかつ「性別」「年齢」「交際経験の有無」のすべてに回答したものを有効回答とした。（年齢が 25 歳以上の回答者 2 名は、分析調査の対象外とした。）

最終的に、有効回答は全体で 2122 人、そのうち女性は 1321 人、男性は 801 人であった。

② 調査期間

平成 28 年 10 月から 12 月に行った。

③ 手続き

個別自記入形式の質問紙調査にて実施した。

デート DV についての予防教育プログラム終了後に、スタッフによって集合調査形式で実施した。回答依頼時に、文書と口頭で説明合意を得た。「説明書および誓約書」（アンケートご協力のお願ひ）は、資料の付表 1 に掲載する。回答は無記名で行われた。実施時間は、約 10 分であった。

④ 倫理的配慮

調査協力者に「説明書および誓約書」（付表 1）を渡し、口頭で説明を行った後に一読してもらった。調査の辞退をしても協力者に何ら不利益がないことを説明した上で、「同意書」（付表 2）を配付し検討してもらった。また、拒否権を保証するために、同意書に記入をした後や、回答の途中であってもいつでも辞退したり、回答を拒否できることを説明した。

「質問紙」（付表 3）は、個別に配付し、回収時には周囲に回答が見えることのないよう封入して提出

してもらった。回答時は、周囲に回答が見えないよう、できるだけ席を離れて着席してもらい、スタッフは生徒、学生が互いに回答を見せ合うことのないよう見守った。また、本質問紙に回答をすることで、デートDVに関する気づきを起こすことが想定されたため、何か話したいことが出てきた際には、いつでも相談ができることを口頭で説明し、「説明書および誓約書」（付表1）に相談機関についての情報を掲載して配付した。質問紙を読むことが困難な生徒、学生に配慮し、ルビ付の質問紙を作成し、主催者と相談の上必要に応じ使用した。

⑤ 調査実施団体

調査実施団体から各学校又は講座主催者への依頼を行った。承諾を得られた学校又は公開講座等において、プログラムを実施した各団体のスタッフにより調査を実施した。

【実施団体】（順不同）

認定NPO法人エンパワメントかながわ
NPO法人DV防止ながさき
公益社団法人ガールスカウト日本連盟
岩手県BBS連盟
NPO法人Safety First 静岡

⑥ 調査実施地域

本調査を実施した都道府県は、以下の通りである。（1都10県）

岩手県・茨城県・埼玉県・東京都・千葉県・神奈川県・群馬県・山梨県・静岡県・長崎県・宮崎県

3. 調査の内容

本調査の質問紙を、付表3に示す。質問紙は、下記の通り構成された。

【質問紙の構成】*****

1. 基本情報
2. 交際経験に関する質問
3. デートDVの被害、加害経験に関する質問
4. 被害、加害、見聞き経験に関する自由記述

1. 基本情報

基本項目として、性別、年齢について記入を求めた。

2. 交際経験に関する質問

交際経験の有無（「はい」または「いいえ」にチェック）について、記入を求めた。

3. デート DV の被害、加害経験に関する質問

回答者のデート DV の被害経験、加害経験について把握するための項目である。「行動の制限」、「精神的暴力」、「経済的暴力」、「身体的暴力」、「性的暴力」に関する質問から構成され、各 6 項目の合計 30 項目から成る。回答は、あてはまるものにチェックする 2 件法による。

4. 被害、加害、見聞き経験に関する自由記述

提示した 30 項目以外の被害、加害経験、およびデート DV について友達や知人から見聞きした経験について調査するために、「デート DV について、これまで自分がされたり、したり、見たり聞いたりしたことについて、どんなことでも書いてください」と尋ね、自由記述形式で回答を求めた。

Ⅱ 調査結果

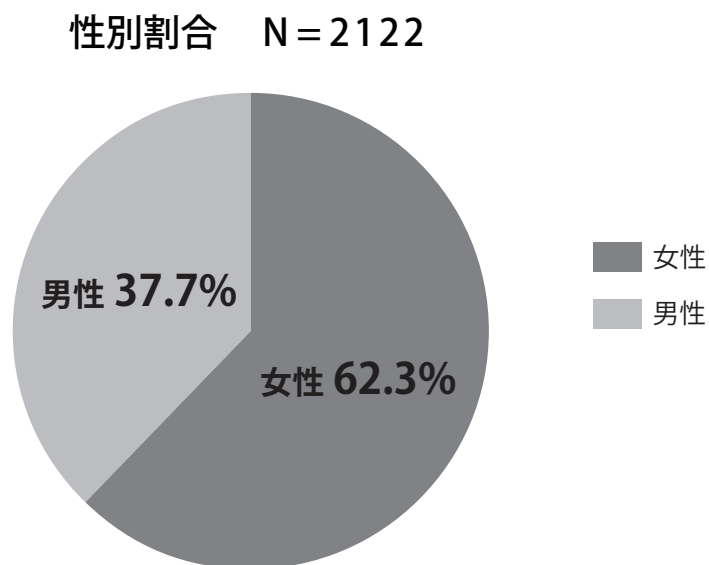
1. 回答者の属性

本調査では、回収した調査票において、「協力する」と答え、なおかつ「性別」「年齢」「交際経験の有無」のすべてに回答したものを有効回答とした。

有効回答は、全体で 2122 人、そのうち女性は 1321 人、男性は 801 人であった。

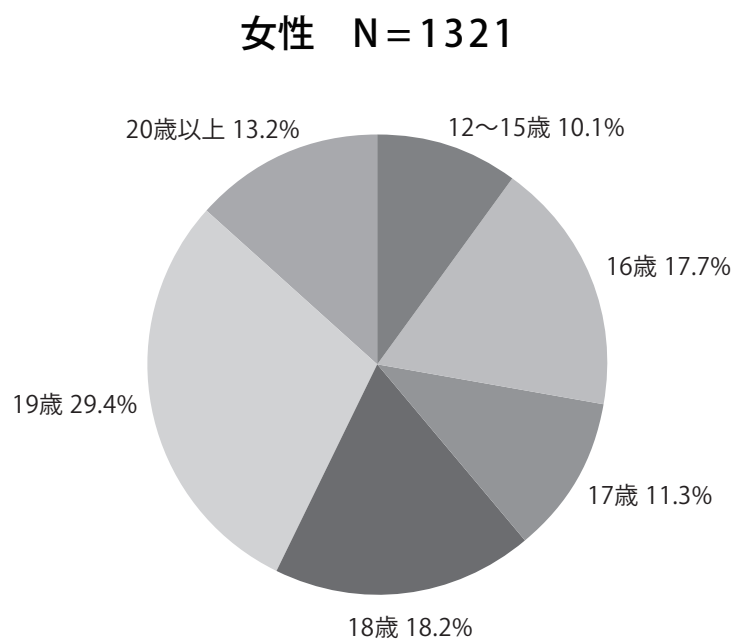
① 性別割合

有効回答のうち、女性の割合は 62.3%、男性の割合は 37.7%であった。

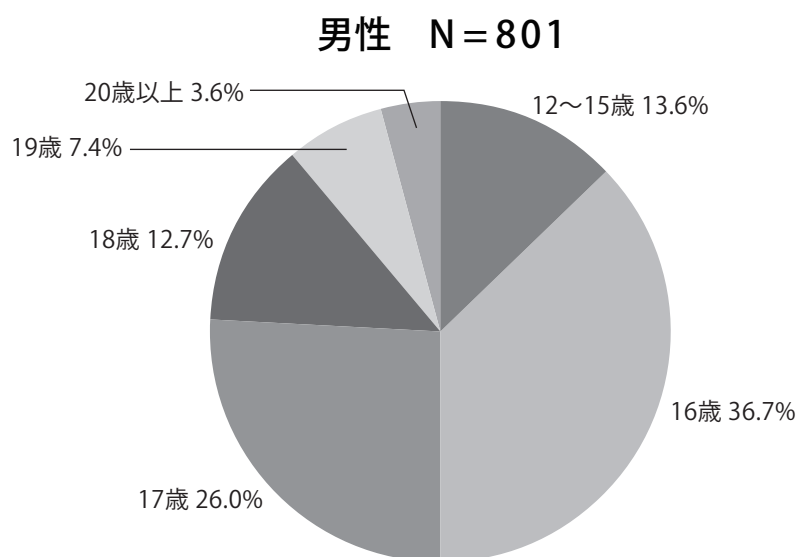


② 年齢別の割合

女性は、12～15 歳 134 人、16 歳 234 人、17 歳 149 人、18 歳 241 人、19 歳 388 人、20 歳以上 175 人であり、年齢別割合は以下ようになった。



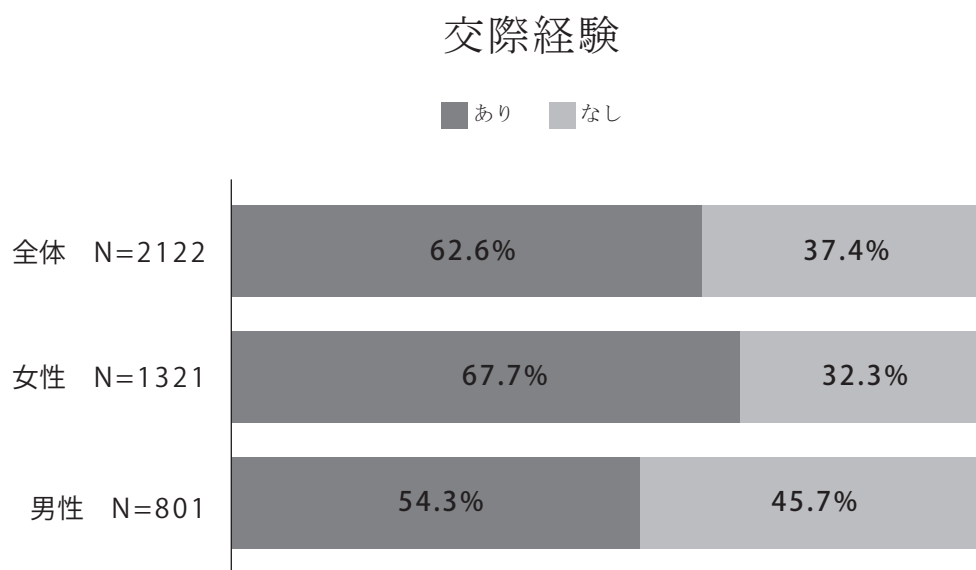
男性は、12～15 歳 109 人、16 歳 294 人、17 歳 208 人、18 歳 102 人、19 歳 59 人、20 歳以上 29 人であり、年齢別割合は以下のようになった。



2. 交際経験の割合

① 交際経験の割合

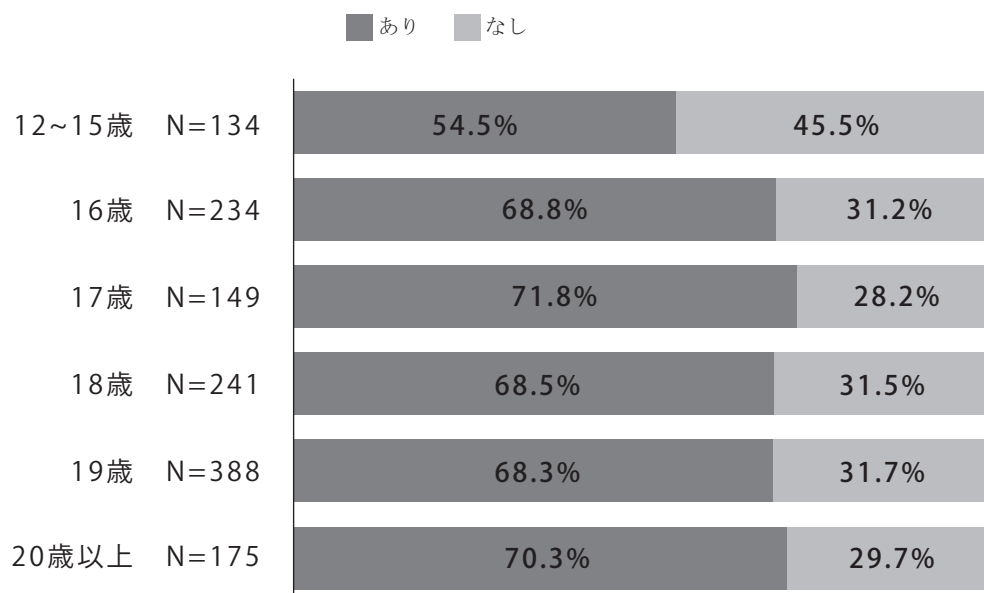
有効回答全体 2122 人のうち、交際経験があると答えたのは、1329 人（62.6%）だった。
女性（全年齢）1321 人のうちでは 894 人（67.7%）、男性（全年齢）801 人のうちでは 435 人（54.3%）だった。



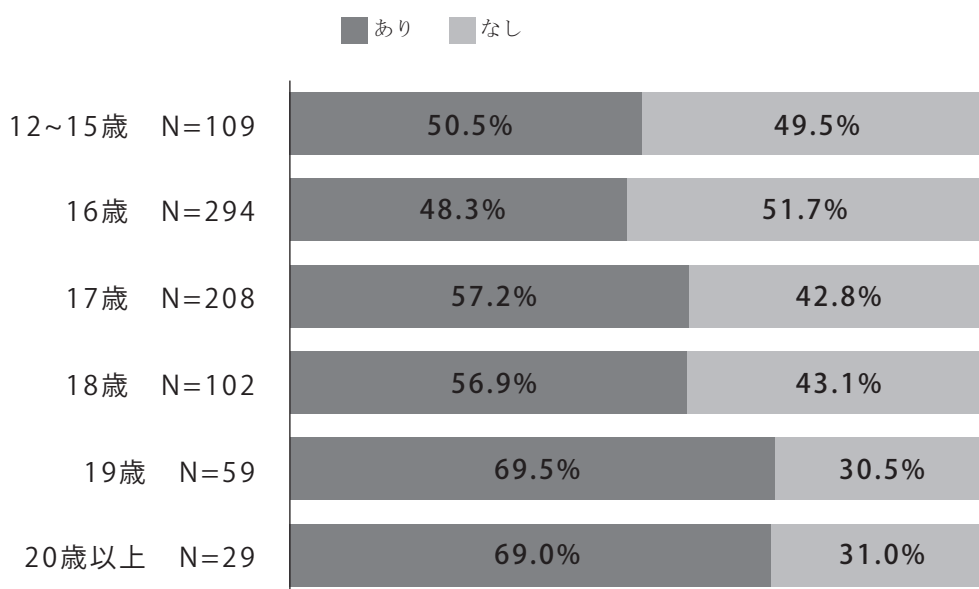
② 年齢別の交際経験の割合

女性、男性それぞれの年齢別の交際経験の割合は以下のようになった。

交際経験（女性）



交際経験（男性）



3. デートDVの実態

デートDVで起きる暴力を5つの種類（行動の制限、精神的暴力、経済的暴力、身体的暴力、性的暴力）ごとに6項目、合計30項目を挙げた。

行動の制限	他の異性と話をしないと約束する
	返信が遅いと怒る
	一日の自分の行動をすべて報告させる
	友人関係を制限する
	スマホや携帯のデータを消す
	服装や髪形を決めつける
精神的暴力	バカ、死ねなど傷つく言葉を言う
	体型や容姿について嫌なことを言う
	別れたら死ぬと言う
	お前のせいだと言う
	理由も言わずに無視をする
	大切にしているものをこわしたり、捨てる
経済的暴力	デートの費用をいつも払わせる
	貸したお金を返さない
	無理やりお金を出させる
	高いプレゼントを買ってほしいと言う
	バイトを辞めさせる、あるいはさせない
	別れるならこれまでのデート代を返せと言う
身体的暴力	つねったり、噛んだりする
	壁に押しつける
	殴る
	蹴る
	首を絞める
	突き飛ばしたり、引きずる
性的暴力	嫌がっているのに体を触る
	嫌がっているのにキスをする
	嫌がっているのにセックスをする
	避妊に協力しない
	裸や性行為の写真や動画を撮る
	裸や性行為の写真や動画を撮りたい、あるいは送ってほしいと要求する

① 被害経験及び加害経験について

交際経験があると答えた人に、上記の30項目について「あなたは、これまでに交際相手（つきあった人）からされたり、したりしたことがありますか？」と聞いたところ、一つでも被害経験のある人は、全体の38.9%、女性では44.5%、男性では27.4%であった。また、一つでも加害経験のある人は、全体の20.8%、女性では21.0%、男性では20.5%であった。

さらに、10代のみで集計したところ、一つでも被害経験のある人は、全体の37.9%、女性では43.8%、男性では26.7%、一つでも加害経験がある人は、全体の21.0%、女性では21.4%、男性では20.2%であった。

全年齢 交際経験のある人		一つでも 被害	一つでも 加害
全体	N = 1329	38.9%	20.8%
女性	N = 894	44.5%	21.0%
男性	N = 435	27.4%	20.5%

10代のみ 交際経験のある人		一つでも 被害	一つでも 加害
全体	N = 1186	37.9%	21.0%
女性	N = 771	43.8%	21.4%
男性	N = 415	26.7%	20.2%

さらに、3個以上、5個以上、10個以上、20個以上の被害経験及び加害経験がある人の割合を以下の表に表した。

全年齢 交際経験のある人		一つでも 被害	一つでも 加害	3個以上 被害	3個以上 加害	5個以上 被害	5個以上 加害	10個以上 被害	10個以上 加害	20個以上 被害	20個以上 加害	
全体	N = 1329	38.9%	20.8%	22.3%	8.0%	10.8%	3.7%	3.6%	1.1%	1.1%	0.5%	
女性	N = 894	44.5%	21.0%	26.2%	7.8%	15.7%	3.9%	6.4%	0.8%	1.3%	0.2%	
男性	N = 435	27.4%	20.5%	14.5%	8.3%	8.0%	3.2%	2.1%	1.6%	0.5%	0.9%	
女性	12～15歳	N = 73	52.1%	24.7%	32.9%	12.3%	19.2%	8.2%	8.2%	0.0%	1.4%	0.0%
	16歳	N = 161	47.8%	20.5%	28.0%	6.8%	17.4%	1.9%	5.0%	0.0%	0.6%	0.0%
	17歳	N = 107	43.0%	22.4%	24.3%	8.4%	14.0%	4.7%	5.6%	0.0%	2.8%	0.0%
	18歳	N = 165	43.6%	24.8%	25.5%	11.5%	15.2%	5.5%	8.5%	0.6%	1.2%	0.0%
	19歳	N = 265	39.6%	18.5%	23.4%	5.7%	14.3%	3.4%	6.4%	1.1%	1.1%	0.4%
	20歳以上	N = 123	48.8%	18.7%	28.5%	5.7%	16.3%	2.4%	4.9%	2.4%	1.6%	0.8%
男性	12～15歳	N = 55	23.6%	16.4%	12.7%	7.3%	10.9%	5.5%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%
	16歳	N = 142	25.4%	21.8%	14.8%	8.5%	4.2%	2.1%	2.1%	0.7%	0.0%	0.0%
	17歳	N = 119	24.4%	16.0%	8.4%	6.7%	5.9%	5.9%	2.5%	4.2%	0.8%	3.4%
	18歳	N = 58	29.3%	17.2%	12.1%	5.2%	6.9%	0.0%	1.7%	0.0%	1.7%	0.0%
	19歳	N = 41	39.0%	36.6%	29.3%	14.6%	17.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳以上	N = 20	40.0%	25.0%	30.0%	15.0%	25.0%	5.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%

② 暴力の種類ごとの被害経験及び加害経験について

5 つの種類ごとに、各項目の被害経験及び加害経験を調べたところ、以下の表のようになった。

1) 行動の制限

6 つの項目の中で、「返信が遅いと怒る」の被害が最も多く、交際経験のある女性の 24.2%、同じく男性の 13.3%が「されたことがある」と答えた。

交際経験のある人			行動の制限					
			他の異性と話をしないと約束する	返信が遅いと怒る	1日の自分の行動をすべて報告させる	友人関係を制限する	スマホや携帯のデータを消す	服装や髪形を決めつける
女性	N=894	被害	15.4%	24.2%	8.8%	14.0%	5.1%	6.6%
		加害	4.4%	8.4%	4.1%	2.6%	3.2%	2.1%
男性	N=435	被害	11.5%	13.3%	3.4%	9.0%	4.1%	3.2%
		加害	3.9%	4.8%	2.3%	3.4%	1.8%	1.4%
女性	12～15歳 N=73	被害	17.8%	31.5%	5.5%	16.4%	8.2%	6.8%
		加害	5.5%	9.6%	2.7%	2.7%	2.7%	1.4%
	16歳 N=161	被害	20.5%	26.1%	8.7%	10.6%	3.7%	5.0%
		加害	4.3%	8.1%	1.2%	1.9%	2.5%	1.2%
	17歳 N=107	被害	16.8%	21.5%	8.4%	14.0%	4.7%	5.6%
		加害	1.9%	8.4%	3.7%	2.8%	0.9%	1.9%
	18歳 N=165	被害	13.3%	23.6%	9.1%	13.9%	4.8%	5.5%
		加害	5.5%	10.9%	7.3%	4.2%	7.3%	3.0%
男性	20歳以上 N=123	被害	15.4%	31.7%	13.0%	18.7%	8.1%	9.8%
		加害	4.1%	7.3%	6.5%	2.4%	4.1%	4.1%
	12～15歳 N=55	被害	9.1%	16.4%	5.5%	7.3%	5.5%	5.5%
		加害	5.5%	7.3%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	16歳 N=142	被害	9.2%	10.6%	2.1%	6.3%	2.8%	2.8%
		加害	2.1%	3.5%	1.4%	3.5%	1.4%	0.7%
	17歳 N=119	被害	7.6%	10.9%	1.7%	5.9%	4.2%	2.5%
		加害	4.2%	5.9%	4.2%	5.9%	3.4%	3.4%
	18歳 N=58	被害	15.5%	12.1%	3.4%	8.6%	3.4%	1.7%
		加害	3.4%	1.7%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%
	19歳 N=41	被害	22.0%	26.8%	9.8%	24.4%	4.9%	2.4%
		加害	7.3%	9.8%	2.4%	0.0%	2.4%	2.4%
	20歳以上 N=20	被害	25.0%	15.0%	5.0%	20.0%	10.0%	10.0%
		加害	5.0%	0.0%	5.0%	5.0%	5.0%	0.0%

2) 精神的暴力

6 つの項目の中で、「バカ、死ねなど傷つく言葉を言う」の被害が最も多く、交際経験のある女性の14.3%が「言われたことがある」と答えた。また、男性の被害の中では、「理由も言わずに無視をする」の被害が最も多く 9.4%が「されたことがある」と答えた。

交際経験のある人			精神的暴力					
			バカ、死ねなど傷つく言葉を言う	体型や容姿について嫌なことを言う	別れたら死ねと言う	お前のせいだと言う	理由も言わずに無視をする	大切にしているものをこわしたり、捨てる
女性	N=894	被害	14.3%	12.9%	11.4%	10.5%	12.1%	2.3%
		加害	7.5%	3.6%	2.8%	2.8%	5.4%	1.2%
男性	N=435	被害	7.8%	4.1%	5.5%	5.3%	9.4%	2.5%
		加害	9.4%	6.0%	1.8%	3.7%	5.1%	1.6%
女性	12～15歳 N=73	被害	24.7%	19.2%	15.1%	15.1%	20.5%	6.8%
		加害	15.1%	2.7%	1.4%	4.1%	11.0%	1.4%
	16歳 N=161	被害	17.4%	14.3%	11.2%	9.3%	12.4%	2.5%
		加害	8.1%	5.0%	1.9%	1.9%	5.0%	0.6%
	17歳 N=107	被害	17.8%	13.1%	11.2%	12.1%	12.1%	0.9%
		加害	12.1%	4.7%	2.8%	4.7%	6.5%	0.9%
	18歳 N=165	被害	10.3%	12.7%	12.7%	9.7%	10.9%	2.4%
		加害	5.5%	3.0%	3.0%	4.2%	4.8%	1.2%
	19歳 N=265	被害	11.7%	8.7%	10.2%	9.8%	11.3%	1.9%
		加害	4.9%	2.3%	3.8%	1.5%	4.2%	1.1%
男性	12～15歳 N=55	被害	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%	3.6%	0.0%
		加害	9.1%	3.6%	3.6%	1.8%	1.8%	1.8%
	16歳 N=142	被害	10.6%	4.9%	4.2%	4.9%	8.5%	1.4%
		加害	9.9%	3.5%	0.7%	1.4%	5.6%	0.7%
	17歳 N=119	被害	7.6%	3.4%	4.2%	4.2%	10.1%	2.5%
		加害	8.4%	7.6%	4.2%	5.9%	5.9%	3.4%
	18歳 N=58	被害	5.2%	1.7%	6.9%	6.9%	12.1%	5.2%
		加害	3.4%	1.7%	0.0%	1.7%	3.4%	0.0%
	19歳 N=41	被害	12.2%	7.3%	9.8%	4.9%	12.2%	0.0%
		加害	17.1%	17.1%	0.0%	2.4%	4.9%	2.4%
	20歳以上 N=20	被害	10.0%	10.0%	25.0%	20.0%	15.0%	15.0%
		加害	15.0%	10.0%	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%

3) 経済的暴力

6 つの項目の中で、「高いプレゼントを買ってほしいと言う」の被害が最も多く、交際経験のある男性の 5.5%が「言われたことがある」と答えた。また、女性の被害の中では、「貸したお金を返さない」の被害が最も多く 4.0%が「されたことがある」と答えた。

交際経験のある人			経済的暴力					
			デートの費用をいつも払わせる	貸したお金を返さない	無理やりお金を出させる	高いプレゼントを買ってほしいと言う	バイトを辞めさせる、あるいはさせない	別れるならこれまでのデート代を返せと言う
女性	N=894	被害	2.7%	4.0%	1.8%	1.9%	2.9%	2.1%
		加害	1.3%	0.8%	0.6%	1.5%	0.7%	0.6%
男性	N=435	被害	2.3%	2.3%	2.3%	5.5%	1.6%	0.9%
		加害	1.8%	1.4%	0.9%	1.6%	0.9%	1.1%
女性	12～15歳 N=73	被害	5.5%	4.1%	4.1%	2.7%	4.1%	2.7%
		加害	1.4%	0.0%	0.0%	1.4%	1.4%	0.0%
	16歳 N=161	被害	2.5%	5.0%	2.5%	1.2%	1.9%	1.2%
		加害	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	17歳 N=107	被害	3.7%	4.7%	2.8%	3.7%	2.8%	0.9%
		加害	0.9%	1.9%	0.0%	1.9%	0.9%	0.9%
	18歳 N=165	被害	2.4%	3.0%	1.8%	1.2%	3.6%	3.6%
		加害	0.6%	1.2%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%
	19歳 N=265	被害	2.6%	3.8%	0.8%	2.3%	2.6%	2.6%
		加害	1.9%	0.4%	1.1%	1.9%	0.8%	0.8%
男性	12～15歳 N=55	被害	3.6%	3.6%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
		加害	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	16歳 N=142	被害	0.7%	0.7%	0.7%	2.8%	0.7%	0.0%
		加害	1.4%	0.7%	0.0%	0.7%	0.0%	0.7%
	17歳 N=119	被害	2.5%	3.4%	2.5%	11.8%	1.7%	1.7%
		加害	4.2%	4.2%	3.4%	3.4%	3.4%	3.4%
	18歳 N=58	被害	1.7%	1.7%	1.7%	3.4%	1.7%	1.7%
		加害	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	19歳 N=41	被害	0.0%	2.4%	0.0%	2.4%	2.4%	2.4%
		加害	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%
	20歳以上 N=20	被害	15.0%	5.0%	15.0%	15.0%	10.0%	0.0%
		加害	5.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%

4) 身体的暴力

6 つの項目の中で、「つねったり、噛んだりする」の被害が最も多く、交際経験のある女性の 6.3%が、同じく男性の 4.6%が「されたことがある」と答えた。

交際経験のある人			身体的暴力					
			つねったり、噛んだりする	壁に押し付ける	殴る	蹴る	首を絞める	突き飛ばしたり、引きずる
女性	N=894	被害	6.3%	5.0%	3.7%	2.5%	2.8%	3.0%
		加害	3.2%	0.9%	1.7%	1.3%	0.6%	0.3%
男性	N=435	被害	4.6%	2.3%	2.5%	1.6%	0.7%	0.5%
		加害	4.4%	2.5%	2.3%	2.3%	2.5%	1.8%
女性	12～15歳 N=73	被害	11.0%	11.0%	5.5%	4.1%	4.1%	4.1%
		加害	5.5%	1.4%	1.4%	4.1%	0.0%	0.0%
	16歳 N=161	被害	5.6%	3.7%	3.1%	3.7%	2.5%	3.1%
		加害	2.5%	0.6%	1.2%	1.2%	0.6%	0.0%
	17歳 N=107	被害	6.5%	5.6%	5.6%	1.9%	0.0%	2.8%
		加害	2.8%	0.0%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%
	18歳 N=165	被害	7.9%	5.5%	4.8%	3.0%	3.0%	1.8%
		加害	4.8%	1.2%	1.8%	1.2%	0.0%	0.6%
	19歳 N=265	被害	4.9%	4.2%	2.3%	1.5%	3.4%	3.4%
		加害	3.4%	1.1%	2.6%	1.1%	1.1%	0.4%
	20歳以上 N=123	被害	4.9%	4.1%	3.3%	1.6%	3.3%	3.3%
		加害	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%
男性	12～15歳 N=55	被害	3.6%	3.6%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
		加害	5.5%	1.8%	5.5%	5.5%	3.6%	1.8%
	16歳 N=142	被害	3.5%	1.4%	0.7%	0.7%	0.7%	0.0%
		加害	3.5%	2.1%	0.7%	0.7%	2.1%	0.7%
	17歳 N=119	被害	3.4%	1.7%	3.4%	2.5%	0.8%	0.8%
		加害	5.9%	4.2%	5.0%	5.0%	5.0%	4.2%
	18歳 N=58	被害	3.4%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%
		加害	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%
	19歳 N=41	被害	9.8%	2.4%	4.9%	2.4%	0.0%	0.0%
		加害	4.9%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳以上 N=20	被害	15.0%	10.0%	5.0%	5.0%	0.0%	0.0%
		加害	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

5) 性的暴力

6 つの項目の中で、「嫌がっているのに体を触る」の被害が最も多く、交際経験のある女性の 10.1% が「されたことがある」と答えた。また、男性の被害の中では、「嫌がっているのにキスをする」の被害が最も多く 2.1% が「されたことがある」と答えた。

交際経験のある人			性的暴力					
			嫌がっているのに 体を触る	嫌がっているのに キスをする	嫌がっているのに セックスをする	避妊に協 力しない	裸や性行 為の写真 や動画を 撮る	裸や性行為 の写真や動 画を撮りたい、あるい は送ってほしいと要求 する
女性	N = 894	被害	10.1%	8.2%	6.0%	6.2%	4.7%	9.6%
		加害	0.4%	0.6%	0.3%	0.4%	0.4%	0.7%
男性	N = 435	被害	1.4%	2.1%	0.9%	0.7%	0.9%	0.9%
		加害	2.3%	1.8%	1.8%	1.6%	1.6%	1.6%
女性	12~15歳 N = 73	被害	15.1%	12.3%	11.0%	8.2%	5.5%	11.0%
		加害	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%
	16歳 N = 161	被害	13.7%	8.7%	2.5%	3.7%	3.7%	6.8%
		加害	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	17歳 N = 107	被害	8.4%	7.5%	4.7%	4.7%	2.8%	7.5%
		加害	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	18歳 N = 165	被害	9.1%	8.5%	7.3%	6.7%	6.1%	12.1%
		加害	0.6%	0.6%	0.0%	1.2%	0.6%	1.8%
	19歳 N = 265	被害	8.3%	7.2%	6.4%	7.2%	5.7%	10.9%
		加害	0.4%	0.8%	0.4%	0.0%	0.4%	0.4%
	20歳以上 N = 123	被害	8.9%	7.3%	6.5%	6.5%	3.3%	8.1%
		加害	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%
男性	12~15歳 N = 55	被害	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		加害	3.6%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	16歳 N = 142	被害	2.1%	2.8%	1.4%	0.7%	0.7%	1.4%
		加害	0.7%	0.0%	1.4%	1.4%	1.4%	2.1%
	17歳 N = 119	被害	0.8%	1.7%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%
		加害	3.4%	3.4%	4.2%	4.2%	3.4%	3.4%
	18歳 N = 58	被害	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%
		加害	3.4%	3.4%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%
	19歳 N = 41	被害	2.4%	4.9%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%
		加害	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳以上 N = 20	被害	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		加害	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%

4. 5つに分類した暴力の被害経験における相関

デート DV で起こりうる暴力を 5 つの種類（行動の制限、精神的暴力、経済的暴力、身体的暴力、性的暴力）に分類し、それぞれの被害経験の相関を検討した。統計分析は、Windows 版 SPSS Statistics 24.0 を使用し、相関係数を算出した。その結果、全ての変数間において、1%水準で有意な相関がみられた。

5つに分類した暴力の被害経験における相関関係

	行動制限の被害経験	精神的暴力の被害経験	経済的暴力の被害経験	身体的暴力の被害経験	性的暴力の被害経験
行動制限の被害経験	—	.570**	.375**	.400**	.445**
精神的暴力の被害経験		—	.392**	.450**	.437**
経済的暴力の被害経験			—	.422**	.375**
身体的暴力の被害経験				—	.436**
性的暴力の被害経験					—

**p<.01

上記に示す結果から、ある暴力の被害経験の得点が高い人ほど、その他の暴力の被害経験の得点も高いことが明らかになった。つまり、デート DV の中で起こり得る暴力は、決して単独で起こっているのではなく、その他の暴力と密接に関わり合っているということが言える。このことは、デート DV の被害者が複数の暴力を重複して受けている可能性を示唆している。

また、特筆すべきは、性的暴力の被害経験との相関についてである。性的暴力の被害経験に関する実数やその割合は、他の暴力に比べて非常に少ない傾向にあるが、本分析では、性的暴力とその他の暴力についても、中程度から強い相関がみられる結果となった。つまり、デート DV において、性的暴力以外の暴力の被害を受けている場合、被害者が性的暴力も同時に受けている可能性を示唆している。

5. 自由記述より

交際経験の有無に関わらず、すべての回答者に「デート DV について、これまで自分がされたり、したり、見たり聞いたりしたことについて、どんなことでも書いてください。」と聞いたところ、以下のような自由記述（抜粋）が得られた。

被害について

<女性>

- ・ 去年付き合っていた人にケータイを投げられたり勝手にケータイをとられたりした。(15 歳)
- ・ 芸人をカッコイイと言わないでならある。(15 歳)
- ・ 胸元が見える服は着るなといわれる。(16 歳)
- ・ 付き合ってる時、バイト帰りに家までついてきたり、嫌なのになだめられたり色々辛い過去があった。嫌いだったから、別れ話を出した。LINE とか1日50件来たこともあった。しつこすぎて本当に病んだ。(16 歳)
- ・ トイレに行かせてくれない。(18 歳)
- ・ LINE の返信をしないと何通も送られてきたり殺すなど言われたことがある。(18 歳)
- ・ いつ、どこで、何をしているのか、写真付きで送る。1日の日程を伝えないといけない。(20 歳)
- ・ ラインの返事が遅かったときに、もっと早く返事ができないのかと言われた。(20 歳)
- ・ 付き合ったことのない相手から返信が遅いと怒られたり、傷つけることを言われたり、たたくふりをされたりといったことがありました。(20 歳)
- ・ 「あなたは男好き。何回言っても変わらない」と言われる(否定しているのに)。たまに怖くなる(言葉遣いや態度など)。(14 歳)
- ・ 死ぬから。ケーバン(携帯番号)、住所、フルネーム、アドレス、さらずでって言われた。(15 歳)
- ・ お前というより、他の人という方が楽しい。他の人になりたいから、消えてって言われたことがある。(15 歳)
- ・ 別れる時に「なら死ぬ」といってベランダに出て飛び降りるふりをされ、本当にこわくなった。(18 歳)
- ・ 別れ話をしたら「時間と金を返して。時間は返せないよね？なら別れない」と言われたことがあります。(18 歳)
- ・ 言葉の暴力をされた(馬鹿とか)。(19 歳)
- ・ 毎日暴言を言われていたので私が相手に伝えたら、いまからお前の所へ行く、おれは死ぬなど言われたことがあります。少し忙しくて連絡がとれなくてそのままいたら、母親と名乗る人から死にましたと言われました。(19 歳)
- ・ 急に不機嫌になる。それなのに一緒にいたがる。(19 歳)
- ・ SNS で交際相手からあからさまに自分の悪口を書きこまれたことがある。(19 歳)
- ・ 大量の睡眠薬を目の前で飲まれたことがある。刃物を持って死んでやると言われたことがある。(20 歳)
- ・ 物に当たられる。(20 歳)
- ・ 相手がすぐ不機嫌になるのでご機嫌とりが大変だった。かまってあげないとすぐ不機嫌になっていた。また、自分の家にばかり来させていてあまりこっちは来ないし、外のデートも面倒そうにしていた。(21 歳)
- ・ 「ここ(人気のない場所)に来ないと色々バラす」と言われた。(21 歳)
- ・ むりやりおごられる。(15 歳)
- ・ 殴られる。蹴られる。(14 歳)
- ・ 最初は遊びでじゃれ合ったりしていると、どんどん力が強くなってあそびじゃなくなる。痛いって言ってもあそびじゃんって逆キレされる。(16 歳)

- ・ けられたり、殴られたりしてすい臓が傷つく。(19 歳)
- ・ 以前付き合っていた人は、カッとなったら止められない人で、公園で遊んでいたときに、持っていた傘を投げつけられた。(19 歳)
- ・ あざができた。(23 歳)
- ・ 性的暴力の男が多すぎてもう恋愛したくない。(16 歳)
- ・ 嫌だと言うことを言えず悩んだことあった。別れたが、送ってしまった写真などが残っていたり、それを友人に話されていたら嫌だから怖いと思ったことがある。(17 歳)
- ・ とにかく性的なことを強要された。嫌がるとイライラして怖かった。メールや連絡もたくさんきて遅いと怒られた。(19 歳)
- ・ 嫌だと言っても自分の性的な写真を送られてきたことがある。(動画もある)おれにしたがえ、と言われた。(18 歳)
- ・ いきなり自分のあそこの写真をとって送られたことがある。(18 歳)
- ・ 突然のキス。(19 歳)
- ・ 避妊に協力してくれず妊娠し、捨てられた。その後連絡なし。(19 歳)
- ・ 公共の場でいきなりキスをされたり、体を触られたりしたことがある。避妊協力をせずにしよとした。でも素直に謝ってくれた。(19 歳)
- ・ 裸にされて、服を外に投げて、自分も外に引きずり出されたことがあります。別れたり、そういうことを言ったら殺しに行くと言われました。(20 歳)

<男性>

- ・ 他の女子とのラインは必ずチェックする。ツイッターはチェック(裏アカも)。勉強するねって言うと話したくないんだとか言われる。(16 歳)
- ・ 携帯を勝手に見られて、女子と話したりしていると怒られた。(17 歳)
- ・ 嫌なことは言われたことがある。(15 歳)

加害について

<女性>

- ・ 束縛した感あります。(19 歳)
- ・ ふざけてバカやうざいなどの言葉は言い合う。ふざけてこのお肉なんだーとかは言われる。(17 歳)
- ・ 恋人が異性と話しをしていて不愉快になり無視をしてしまった。(19 歳)
- ・ 普通にたわむれている時にほっぺをお互いにつまんだりはするが、思いつきりはしない。(18 歳)
- ・ 親がそうだった。自分も昔、付き合っていた人にしてしまっていたことがあった。(19 歳)

<男性>

- ・ 好きという固定観念にとらわれて、限度がわからないという状況におちいった。する側もされる側も限度を知ることが大事。(16 歳)

<女性>

- ・ 男友達とラインをしていた彼女は彼氏に「もうメールするな」と言われて男友達のラインを消された。外出禁止にしたりした。(12 歳)
- ・ 友達が男子と話すなとか LINE するなって言われてました。(16 歳)
- ・ 聞いたことは、友人の元カレが友人の電話帳に登録されている他の男子の電話番号とか消したり…(16 歳)
- ・ 友だちが彼氏に行動などをすごく制限されてて、でも別れられなくて、最終的に浮気されてて交際は大変だなと感じました。(17 歳)
- ・ メールを一度始めるとなかなか終わらなくて困ってるって言うのを聞いた。必ず 1 日 1 回はメールをするようにって言われてるっていうのを聞いた。(18 歳)
- ・ 友だちで理由は分からないのですが、彼氏にブロック(LINE)された時とてもショックを受けていました。その後は仲良くしているようでした。(19 歳)
- ・ 返信遅いと怒るとか(男)、毎日電話しないといやとか(女)は聞いたことがあります。(19 歳)
- ・ 私の友達が彼氏から LINE のやり取りをチェックされたり、制限されるっていうのを相談されたことがあります。(19 歳)
- ・ 連絡とるなとかアドレス消せとかはよく聞く。(19 歳)
- ・ 友人が彼氏に友人関係や遊びにいくことなどの報告をさせられている。大学の子と遊ぶのを制限させられている。(19 歳)
- ・ 周りの子ですごくそくばくされている子がいた。同性の子と遊ぶのも機嫌が悪くなって私も遊べなくて嫌だった。卒業後別れていた。(19 歳)
- ・ 他の異性とあまりしゃべるなど友人が言われていた。(19 歳)
- ・ 友だちに記念日をものすごく気にする彼氏がいて、夜遊びに来ていた時も、帰ってくるように言われて、帰っていった人がいます。(19 歳)
- ・ 友達が恋人にスマホを割られたりとかはあったのですがその時はそんなに深く考えていなかったの、今回の講義を聞いてもしかしたらもっとあぶない目にあってたかもしれない、と思いました。(19 歳)
- ・ SNS の投稿をわざわざ口出しするということは聞いたことがあります。(19 歳)
- ・ 友達が異性のいる場所に行ってはいけないと言われていた。(20 歳)
- ・ 友人が彼氏に男のアドレスを消せと言われて、消された。(20 歳)
- ・ 同級生が他の男と話すな等の行動の制限を彼氏に言われていたと聞いた。(20 歳)
- ・ 私の兄が彼女に女友だちのメアド消去やストーリーをされていた。(20 歳)
- ・ 私の友達は LINE の返信が 1 時間遅いと彼から次の日に説教されるということを聞いたことがあって、友達は DV だと気付いていなかったそうです。←今は別れている。(20 歳)
- ・ 友人が必要以上に友だちとの遊びを制限されたり、むりやり性行為をされたことがあると聞きました。自分自身は LINE の返信が遅いと不機嫌になったり、通話の最中もふてくされることが何度もあり、通話するたびにそれにおびえていました。(21 歳)
- ・ 友達の(異性)メアドを消せって言われた人がいた。(21 歳)
- ・ 友達が彼氏に「別れたら死んでやる」と言われていた。なかなか別れられずに悩んでいた。(17 歳)

- ・ 友人がもう別れたいと思っている彼氏に通学路で待ち伏せされていた。彼氏に無理やり腕をひかれて少し離れたところで話し合っていた。なんだか少し彼氏に対して不快感を感じました。(19 歳)
- ・ 友達は 5 分遅刻しただけで、泣かれてどなられたことがあると言っていた。(20 歳)
- ・ 友人が別れる時、今までのお金を返さないとわかれられないと言われていた。(19 歳)
- ・ 手にシャープペンさされた女の人がいた。さした男いた。(17 歳)
- ・ 首を絞められたり性的暴力を受けていた子がいたのはきいたことある。(18 歳)
- ・ 彼氏から首を絞められたことがあると友達から聞いたことがあります。(18 歳)
- ・ 前髪をつかんで壁に頭を叩きつけられたと聞いたことがある。(19 歳)
- ・ 友達が彼氏をよく噛んで楽しんでいるのを見たことがあります。(19 歳)
- ・ 高校の時、友だちが噛まれたり殴られたりされていた。彼の方は死ぬなどと言っていた。(19 歳)
- ・ 別れたくないと言った胸ぐらをつかんだ知り合いがいる(男)。(20 歳)
- ・ 高校の時の同級生の彼氏が彼女をたたいていたりした。(20 歳)
- ・ 友達が、嫌がっているのにムリやり手をつなぐれたことがあるのを見たことがある。(13 歳)
- ・ 3 年生の先輩は Sex 中にハメ撮りされたと言っていた。(15 歳)
- ・ 友達の元彼が友達にむりやりせまってきたり、等は聞いたことがあります。(16 歳)
- ・ 友達が避妊してもらえないと悩んでた。正直あんまりよくないんだろうけれど、否定するとその友達との関係がよくなくなりそうと言わなかった。(16 歳)
- ・ むりやりセックスされたことがあるという話はきいたことがある。(16 歳)
- ・ 学年にいる男の子が女の子に体の部分を写真に撮って送っていた。(たくさんの女の子に)(17 歳)
- ・ 友だちの前で嫌がっているのにキスをさせられた子がいた。(18 歳)
- ・ 性的暴力をされた女の子がいて妊娠して中絶してしまった。(19 歳)
- ・ 嫌な行為を強要されている友人(女)がいた。(22 歳)

<男性>

- ・ 学校の帰りにむりやりいっしょに帰らされたりしている人がいた。(14 歳)
- ・ よくクラスで言い合いをしてケンカしてる人たちを見たことがある。クラスでいちゃつかないでほしい。まじでうざい。(15 歳)
- ・ 友達が彼女に行動の制限をされていたので、それはちょっとやりすぎかなと思った。(16 歳)
- ・ 常に行動を報告されている彼氏を持った友人はいた。(16 歳)
- ・ 男絡みが多いと注意されていた(友人 A が友人 B に)。(18 歳)
- ・ 「誰と遊んでいるのか」等のことがあると聞いた。(19 歳)
- ・ 友人が他の人と付き合っているときその友人と話していたら「俺の彼女と話してるんじゃない！」と陰から言われたことがある。(19 歳)
- ・ 彼氏の思いが強く束縛のような状態を見かけた。他の友達と少し注意した後は彼氏彼女どちらも充実しているようだった。(19 歳)
- ・ 友人がその彼女からストーキングを受けていた。後日、その問題は解決。(22 歳)
- ・ バイクの部品がほしいからお金貸してと言われて返してもらっていない友達がいた。(19 歳)
- ・ いやな写真を広められていた。しつこく電話されていた。(18 歳)

<女性>

- ・ まじやばい…わら。(12 歳)
- ・ DV はきいたことあるけどデート DV は知らない。(12 歳)
- ・ この中にあるものの中にはあんまりないけど聞いた事あるのもデートDVに入っていて、この先に彼氏を作るときは、ちゃんと気をつけたい。(12 歳)
- ・ 一人一人の感情がある。個性があると思う。(13 歳)
- ・ デート DV をするような人に、しっかり愛してはもらえない。(13 歳)
- ・ ペアの物とか、どうしたらいいのか。(15 歳)
- ・ 付き合っていると、大変だな～って思ったけれど、色々と気をつけようと思ったし、されたこと、したことに気付けた。(16 歳)
- ・ よくテレビのニュースとかで見るけど、本当に最悪だと思う。絶対にそんな人とは付き合いたくない！！(16 歳)
- ・ なんで自分の好きな人なのに暴力をふるったりするのかわからない。(16 歳)
- ・ デートDVは、相手がいることなので難しいと思います。されたらどうしていいかわからずに自分をせめると思いました。いつ自分におきても、おかしくないことなので、「言い方(ことわり方)」を考えておきたいなと思います。(16 歳)
- ・ デート DV について、知ることができてよかったです。(16 歳)
- ・ 自分はまったくないですが、兄の友人が…と言うのを聞いたことがあります。無事、解決したみたいですが、けっこう身近にデートDVが起きているのだと思いました。(16 歳)
- ・ 自分の周囲にそういった関係の人は数少ないです。ですが友達でDVにあってる人がいたら、極力力になってあげたいと思いました。また、自分があわないためにも努力しようと思います。(16 歳)
- ・ 相手が傷つくことはしたくないです。(17 歳)
- ・ とても楽しくわかりやすくてよかったです。(17 歳)
- ・ デート DV には暴力や暴言だけでなく、経済面での暴力もある。(17 歳)
- ・ デート DV について聞いたことはありますが、したりされたりしたことがないので想像しかできません。自分の意見を持ち、言うことが大事なんだと知りました。(17 歳)
- ・ デート DV っていう名前は聞いたことがあったが、あんまり詳しいことを知らなかったのを機に知れたので良かったです。(17 歳)
- ・ その人がどう受け止めるかによって違うのかなと思った。(17 歳)
- ・ 自分はそのような体験はありません。ですが、場合によってはそうになってしまうこともあるかもしれません。今回の学習でそうってしまったらどうすればよいのかなど学ぶことができてよかったです。(17 歳)
- ・ 最近、ニュースとかでも多く取り上げられていることがあったけど、詳しく知ることはなくて、こうした機会で楽しくだけでも、しっかり知れたと思う。自分を大切にしたいと思いました。(17 歳)
- ・ グループワークでやったことで、友達同士でみんなどういう風に思っているかわかりました。(17 歳)
- ・ グループで勉強することで楽しく学べた。とても分かりやすく説明していただきありがとうございました。(17 歳)
- ・ 思っていたよりも明るくて楽しかったです。小さなことでも嫌と思ったらちゃんと伝えるのが大切だなと思いました。(17 歳)
- ・ 見たこと聞いたことはないのですが、もし自分の友達がデート DV に巻き込まれていたら助けてあげたいと思いました。(18 歳)

- ・ ないのでわかりません。ただ、この講義を聞いてもし見たり聞いたりしたら「あなたは悪くないよ」と伝えたい。(18 歳)
- ・ ドラマなどでよく見る DV が現実では起こってほしくないなと思いました。もしも回りでそのような子がいたら私は話を聞こうと思います。(18 歳)
- ・ デート DV はひどいことだと改めて思いました。自分の彼氏にする人をちゃんと見極めていきたいです。(18 歳)
- ・ デート DV は身体的暴力のイメージでしたが、言葉の暴力などたくさんの暴力があるということを知りました。私はされた事など無いししたことないですが、やってはいけない事は分かります。(18 歳)
- ・ 自分はされたり、したことはありませんが、やられた人は絶対辛いし、嫌な気持ちになっていると思うので、もし自分がその立場になったら相手に意見を言える関係でいたいです。(18 歳)
- ・ 自分がされてたことはデート DV なのかなと思いました。嫉妬ゆえのものだと思ったし最初は嫌じゃなかったこともあったので気づかなかったです。そこがすごく怖いなと思ったので気を付けていきたいです。(18 歳)
- ・ 先生 1 人だけに相談したのに、先生ら全員に広まっていて、嫌な思いをする。(19 歳)
- ・ 思い返せばそうだったのかなと思うこともあるけど、当時はデート DV だと悩むほどでもなかったかなと思っています。今日はありがとうございました。(18 歳)
- ・ 今まで DV を受けたことないから関係ないと思っていたけれど、知らないうちに私がしてしまった…なんてことにならないように気をつけようと思った。(18 歳)
- ・ 相談する相手がいないときついと思います。別れればいい→そんな簡単じゃない。「死ぬ」といわれれば何もできない。毎日楽しくなくなる。親も理解してくれない。力では絶対に負ける。(19 歳)
- ・ どこからがデート DV になるんだろうと思いました。ふざけた形でなら当てはまったけど？ 気にならなかったからどうなんだろうと思った。(19 歳)
- ・ 女子高生(女子高校)が Twitter で、「デート DV のパンフレットもらったけど、関係ないからゴミ箱行き」というような内容をツイートしていて、こういうところからデート DV は生まれるのかもしれないと思いました。また、デート DV のことが広まってない現状があることを目の当たりにしました。(20 歳)

<男性>

- ・ 人が嫌がることを平気でするのは許せないと思った。(15 歳)
- ・ なんだか自分勝手な人ばかりだなと思った。自分はこんな人にならないよう気をつけよう。(15 歳)
- ・ とてダメだと思う。自分はそんなこともやりたくないし、やられたくもない。こんなことがない社会になるようにしたい。(15 歳)
- ・ デート DV はしてはいけないことだと改めてわかった。(15 歳)
- ・ 一生そんな事をしない。(15 歳)
- ・ デート DV は、してもだめだし、やられてもだめだと思う。(15 歳)
- ・ 交際した経験はないが、相手にデート DV をしないよう気をつけたいと思う。(16 歳)
- ・ ひどいことだと思います。自分の考えたことだけを優先して相手のことを全然考えていない。自分勝手だと思う。(16 歳)
- ・ デート DV はたくさんあることが分かった。(16 歳)
- ・ これからの人生を歩んでいく上で異性との付き合い方を考えたいと思います。(16 歳)

- ・ 親密な関係ほど慎重に、大切に！（17 歳）
- ・ 行動を制限されたり、暴力をふるったり、そういうことをしている付き合い方は自分たちも不快になるから、しっかり決め事をつくって正しい付き合い方をした方がいいと思った。（17 歳）
- ・ 自分がもししたらデート DV を気づかずにしているかもしれないので、これからはお互いに気をつけて良好な関係を築きたいです。演技、すごく上手でした！（17 歳）
- ・ 男友達と2人きりで遊ぶのはあまりうれしくない。（17 歳）
- ・ 今の交際を始めるにあたり、ちらっと調べたことがある。一応注意して自分からは絶対しないようにしているが、何時かそういう人間になってしまわないか不安だった。暴力と支配は何処にでも起こりうる。聖人君主だって起こる可能性は…。その不安だけが今の俺とデート DV に関する関わり。永遠にそうであろうと思う。（18 歳）
- ・ 自分が気づいていないときに DV をしていたら嫌だ。だけど今回の授業で本当に彼女との関係性を見直すことができた！本当にありがとうございました。（18 歳）
- ・ よくないことだと思う。（18 歳）
- ・ しそうになる場面はあったけど何とか踏みとどまることはできていたと思う。（19 歳）
- ・ されたりしたことはないが、将来何があるかわからないので気を付けて付き合ったりということをしたと思った。（19 歳）
- ・ かならずしも自分の思ういいことが相手にもいいこととは限らない。（19 歳）
- ・ 束縛が強いカップルの中で、二人の間に他人が介入する難しさを感じます。他の男性と夕食で会う時は報告してね、くらいは言いますので。お互いでの充実した議論、話し合いが必要かと思います。（20 歳）
- ・ もし恋人ができたとして、その時自分は相手を束縛したくないし、手も上げたくない。（20 歳）

Ⅲ 考察

棟居徳子（金沢大学人間社会研究域法学系・准教授）

1. 本調査の意義

本調査は、中学生・高校生・大学生を対象とした、初の全国規模のデート DV 実態調査である。この点、わが国ではこれまでもデート DV の実態調査が少数であるが実施されている。たとえば、横浜市では 2007 年に市内の高校生・大学生を対象にデート DV の実態調査を行っている¹。また、内閣府男女共同参画局が定期的に行っている「男女間における暴力に関する調査」の中にも、交際相手からの被害をたずねる項目が含まれている²。しかし、前者は横浜市という特定の地域に限定された調査であり、また後者はその調査対象が 20 歳以上であることから、全国の特に 10 代の若者の間で起こっているデート DV の実態は把握されてこなかった。本調査では、1 都 10 県の中学生・高校生・大学生 2,122 人から回答を得ており、本調査結果は、わが国における特に 10 代の若者のデート DV の実態を把握する上で、貴重なデータであると言える。

2. 本調査結果から見えるデート DV の実態と特徴

本調査で明らかになったデート DV の実態を（１）被害経験の実態と（２）暴力の実態に分けて以下論じる。さらに、本調査結果から見えるデート DV の特徴として、（３）暴力被害の重複性と性的暴力の被害経験との相関関係についても合わせて論じる。

（１）被害経験の実態

本調査では、調査に回答した中・高・大学生で、かつ交際経験がある者のうち、38.9%がこれまでに何らかのデート DV の被害を経験していることが分かった。すなわち、約 2.5 人に 1 人がデート DV の被害経験があることになる。女性についてはおよそ 2 人に 1 人（44.5%）、男性についても約 3.5 人に 1 人（27.4%）が何らかの被害を経験している。

こうした本調査結果は、これまでに実施された他のデート DV に関する調査結果と比較すると、高率を示している。たとえば、前出の横浜市の調査では、調査対象者のうち交際経験のある高校生・大学生（576 人）の 34.9%（女性 38.8%、男性 27.5%）が、デート DV のいずれかの行為を 1 つでも「されたかもしれない」と回答した。また、同じく前出の内閣府の調査では、調査対象者のうち「交際相手がいた（いる）」とした人（1,847 人）の 14.8%、女性については約 5 人に 1 人（19.1%）が交際相手から被害を受けたことがあると回答している。このように本調査結果の数値が高い理由として、本調査の実施に際し、事前にデート DV の理解を促進するためのワークショップを実施したことが考えられる。調

¹ 横浜市民活推進局「デート DV についての意識・実態調査報告書」平成 20 年 3 月。

² 内閣府男女共同参画局「男女間における暴力に関する調査報告書」平成 27 年 3 月。

査協力者は、「デート DV」の種類・内容について十分理解した上で回答を行っている。一方、内閣府の調査では回答者が「交際相手からの暴力」の種類・内容を理解した上で回答したか否かが不明であり、なかには「行動の制限」や「精神的暴力」の内容を十分に認識していない回答者もいたかもしれない。また、内閣府の調査では、60 歳以上の回答者が全調査対象者の 44%を占めており、回答者の年齢に偏りも見られる。横浜市の調査では今回と同様の方法がとられているが、先述したように地域・対象が限定された調査であった。したがって、本調査結果は、全国規模の中・高・大学生のデート DV 被害経験の実態をより的確に示していると言え、本調査により、これまでに他の調査で把握されていたよりも多くの若者がデート DV の被害を経験していたことが明らかとなった。

さらに、本調査結果を交際経験のある 10 代の者のみで集計を行ったところ、何らかの被害経験がある者の割合は 37.9%で、女性が 43.8%、男性が 26.7%であった。交際経験のある 10 代の若者のおよそ 3 人に 1 人が何らかのデート DV の被害を経験していることになる。年齢別に見ると、12~15 歳女性が 52.1%と最も高く、次いで 16 歳女性が 47.8%、18 歳女性が 43.6%であった。このように 10 代の比較的低い年齢から若者たちはデート DV の被害を経験していることが分かった。

ただし、12~15 歳女性の割合が高くなっているのは、他の年齢層に比べサンプル数が少ないということもあるため留意が必要である。一方で、日本性教育協会が 2011 年に実施した「青少年の性行動全国調査」では、中学生のデート経験率は男性 24.7%、女性 21.8%、高校生では男性 53.1%、女性 57.7%、大学生では男性 77.1%、女性 77.0%であり¹、中学生については他の年齢層に比べ交際経験者の絶対数が少ないことから、サンプル数を増やすことには限界があることも事実である。

しかし、本調査の自由記述からもわかるように、15 歳以下の若者も、殴る・蹴る等の身体的暴力や、行動の制限、心理的暴力、経済的暴力の被害に遭っていることが明らかとなっており、デート DV が 15 歳以下の若者の間でも相当数起きていることは間違いない。

（2）暴力の実態

本調査では、デート DV で起きる暴力を、「行動の制限」、「精神的暴力」、「経済的暴力」、「身体的暴力」、「性的暴力」の 5 つに分類し、それぞれについて被害経験をたずねた。

この 5 つの暴力のうち、「行動の制限」に関する被害経験の割合が最も高く、その中でも「返信が遅いと怒る」について、交際経験のある女性の 24.2%が「されたことがある」と答えた（男性 13.3%）。その他、「他の異性と話をしないと約束する」と「友人関係を制限する」について、交際経験のある女性の 15.4%、14.0%（男性 11.5%、9.0%）が「されたことがある」と答えている。自由記述においても、「見聞きしたことについて」は「行動の制限」に関する記述が最も多かった。

¹ 日本性教育協会（2013）『「若者の性」白書―第 7 回青少年の性行動全国調査報告―』小学館。

次に被害経験の割合が高かったのは「精神的暴力」で、その中でも「バカ、死ねなど傷つく言葉を言う」が最も多く、交際経験のある女性の 14.3%が「言われたことがある」と答えた（男性 7.8%）。次いで、「理由も言わずに無視をする」（女性 12.1%、男性 9.4%）、「別れたら死ぬと言う」（女性 11.4%、男性 5.5%）の被害経験の割合が高かった。自由記述における「被害について」の記述では、「精神的暴力」に関する記述が最も多かった。

このように、「行動の制限」と「精神的暴力」の被害経験割合が高かった一方、「経済的暴力」と「身体的暴力」の被害経験割合はいずれも 10%以下で、さほど高くなかった。しかし、自由記述では、殴る、蹴る、傘を投げつける、頭を壁に叩きつける、首を絞めるといった非常に危険な暴力の被害についての記述もあり、被害者が受けた暴力の深刻さは数値では表わしきれないものがある。

「性的暴力」についても、被害経験割合で見ると、「嫌がっているのに体を触る」、「裸や性行為の写真や動画を撮りたい、あるいは送ってほしいと要求する」、「嫌がっているのにキスをする」がそれぞれ 10%前後であるものの、自由記述では、裸にされて外に引きずり出されたことや、避妊に協力してくれず妊娠したことなどが記述されており、人格と心身を傷つける深刻な被害を受けていることも分かった。

以上のように、データからは「行動の制限」と「精神的暴力」が多い傾向にあることが明らかとなったが、同時に、非常に深刻な「身体的暴力」や「性的暴力」も起きていることが分かった。

（３）暴力被害の重複性と性的暴力の被害経験との相関関係

「Ⅱ調査結果」の「４．５つに分類した暴力被害における相関」で示したように、５つの種類の暴力の相関係数を算出したところ、ある暴力の被害経験の得点が高い人ほど、その他の暴力の被害経験の得点も高いことが明らかになった。すなわち、デート DV の被害者は、ある暴力を単独で受けているのではなく、複数の暴力を重複して受けている可能性があることが分かった。

この点、一般的に、デート DV の暴力は徐々にエスカレートしていく傾向があることが指摘されているが、デート DV のこうした傾向に加え、本調査で明らかとなった暴力被害の重複性という傾向についても周知していく必要があるだろう。なぜならば、デート DV に関する相談や支援の場面において、被害者の主訴が「行動の制限」や「精神的暴力」であったとしても、その他の暴力の被害も受けている可能性ないし受ける可能性を考慮に入れて対応することが、周囲の者や支援者に求められるからである。

さらに、性的暴力については、その被害経験の実数や割合が、本調査においても、また他の関連する調査や統計においても、他の暴力に比べ少ない傾向にある。しかし、性的暴力の被害は、外部から分かりづらく、かつ被害者が羞恥心や自責の念から相談や通報をし

にくいことから、暗数が多いと指摘されている⁴。本調査では、性的暴力とその他の暴力についても、中程度から強い相関が見られることが分かった。このことは、デート DV の被害者が、性的暴力以外の暴力被害を受けている場合、性的暴力も同時に受けている可能性があることを示唆しており、デート DV の被害者支援においては、性的暴力の被害への対応も含めた支援体制を構築する必要がある。

3. 今後の課題

本調査結果を受けて、以下では今後の課題として、(1) 低学年からのデート DV 予防教育の必要性和 (2) 被害者支援体制構築の必要性について論じる。

(1) 低学年からのデート DV 予防教育の必要性

上述したように、本調査では、交際経験のある 10 代の若者のおよそ 3 人に 1 人がデート DV の被害を経験していることが分かった。さらに、15 歳以下の低年齢の者の被害も相当数あることが分かった。こうしたことから、高校生及び大学生はもとより、中学生の早い段階からデート DV の予防教育を各教育機関において行うことが求められる。

予防教育では、一人ひとりがかけがえのない大切な存在であり、暴力を受けてよい人はいないといった人権保障の観点を基礎とし、デート DV の具体的な内容・種類・特徴（傾向）の理解を促進するとともに、被害に遭った場合の相談先の情報が提供される必要がある。また、若者自身が、デート DV が起きない関係性や環境をいかに構築・維持できるかについて考え、話し合う機会が持たれることが望ましい。さらに、性的暴力の予防のために、デート DV の予防教育には性教育が含まれるべきである。

こうした教育機関における若者への予防教育を展開していくためには、教職員、保護者そして市民のデート DV への関心を高め、理解を深めることが重要となる。特に中学生への予防教育を実施していくためには、これらの人びとの理解が不可欠である。したがって、若者への予防教育の実施と同時に、教職員、保護者、市民への啓発も行っていく必要がある。

(2) 被害者支援体制構築の必要性

本調査結果から、若者の多くがデート DV の被害を経験しており、なかには非常に深刻な被害を受けた者もいたことが明らかになった。こうしたことから、デート DV の被害者支援体制の整備は喫緊の課題であると言える。また、先述したように、予防教育の中には、被害に遭った場合の相談先の情報提供が含まれる必要があることから、予防教育を実施していく上でもデート DV の被害者のための相談窓口は不可欠である。

⁴ 棟居徳子（2011）「性暴力被害の実態と被害者支援～いま社会福祉に求められるもの～」『社会福祉研究』111 号、43－49 頁。

デート DV の相談窓口は、まず生徒たちに身近な各教育機関内において整備される必要がある。また、相談を受けた後の支援体制の構築も必要である。特に被害者・加害者が同じ学校の生徒であった場合の対応をシステム化しておくことは、被害者の安全を確保するとともに、被害者・加害者双方の学習権を保障するためにも重要である。こうした相談・支援体制を学内で構築していくために、相談・支援に関わる教職員への研修やサポートも必要である。

さらに、予防教育や被害者支援に係る各教育機関の取組みをサポートするとともに、教育機関だけでは対応が困難なケースに対応するために、地域にもデート DV に対応する相談窓口と支援機関が必要である。そのためには地域でデート DV に対応できるスタッフの養成も求められる。こうした教育機関や地域の取組みを人的・財政的に支えていくために、デート DV の予防と被害者支援に関する法律の整備も今後検討していく必要があるだろう。この点、近年の晩婚化・未婚化・非婚化の進行を背景に⁵、10 代・20 代の若者のみならず、30 代・40 代の人たちもデート DV の被害に遭っていることが分かっている⁶。現行の配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV 防止法）は、「生活の根拠を共にする交際相手」からの暴力もその対象としているが、今回の調査対象である中・高・大学生や、それ以外の年齢層における未婚で生活の根拠を共にしない交際相手からの暴力に対応しきれていない。デート DV を幅広い年齢層に関わる社会問題と捉え、既存の法律の改正ないし新法の制定を視野に入れた検討が必要である。

4. 本調査の限界

本調査は、デート DV について理解があり、かつ本調査の趣旨に賛同頂いた教育機関・関係団体の協力のもと実施された。この点、本調査が、中・高・大学生に対し、デート DV の被害経験を聞くというセンシティブな内容の調査であることから、協力を得られない教育機関もあった。よって、本調査の実施地域及び調査対象者の年齢にやや偏りがあることは否めない。特に 15 歳以下の若者については十分なサンプル数を集めることが困難であった。しかし、本調査で明らかになったように、10 代の、とりわけ低年齢の若者の間でもデート DV は起こっている。今後さらに幅広い地域及び中学生を対象としたデート DV の実態調査の実施が求められるところである。

また、本調査では、中・高・大学生が経験しているデート DV の被害実態を明らかにするということが第一の目的としたことから、被害後の相談の有無や被害者の支援ニーズに関する質問項目は含めなかった。デート DV の被害者支援体制の構築や法整備を進めていくためには、今後さらにこうした項目を含めた調査の実施も求められる。

⁵ 内閣府「平成 26 年度少子化の状況及び少子化への対処施策の概況（平成 27 年版少子化対策白書）」8-11 頁。

⁶ 認定 NPO 法人エンパワメントかながわ（2016）『デート DV 白書 Vol.4 デート DV の実態から見える中堅世代の女性の生きづらさ～デート DV110 番 5 年間の相談記録から～』。

IV 資料

アンケートご協力をお願い

今日は、デート DV 予防講座を受講していただき、ありがとうございました。
私たちは、デート DV をなくしていくための活動をおこなっています。このたび、デート DV についての調査を、他の団体とも協力して全国規模で実施することになりました。

(1) アンケートは無記名ですので、あなたの個人情報が外部にもれることは一切ありません。また、学校の先生や友達などに内容を見られることもありません。

(2) ご協力いただくかどうかは、自由です。アンケートにご協力いただけない場合でも、あなたの学校生活に影響することはなく、あなたが不利になることもありません。

(3) 答えたくない場合には、白紙で提出することもできます。また、回答を途中でやめることもできます。

(4) アンケートは、厳重に保管され、保管する必要がなくなった時点で完全に破棄します。

(5) 集計結果は、公表されますが、全て数値で集計され、個人が特定されることはありません。

(6) 結果を知りたい方は、来年 3 月以降に「エンパワメントかながわのホームページ」をご覧ください。

(7) アンケートに回答する中で、いやな気持ちになったり、何かを思い出して辛くなった時には、あなたの周りのおとなや、下記の電話相談に相談をしてください。

(8) アンケートにご協力いただける場合には、アンケート用紙の表紙に、「はい」に○をつけてから始めてください。

デート DV についてもっと知りたい人は、下記サイトをご覧ください。

デート DV110 番サイト 検索

デート DV について相談したい人や何か困っている人は、あなたの周りのおとなや下記の電話相談に相談することもできます。

毎週火曜日 18 時～21 時 土曜日 14 時～18 時

デート DV のことなら、どなたからの相談でも受け付けています。匿名で（名前を言わずに）相談でき、秘密は固く守られます。

この調査についてのお問い合わせは、こちらへご連絡ください。

認定 NPO 法人エンパワメントかながわ

電話：045-323-1818 FAX：045-323-1819

Email：kanagawa-cap-miracle@isis.ocn.ne.jp

アンケート調査ご協力をお願い

このアンケートは、デートDVについての全国調査です。
このアンケートで答えていただいた回答は、調査の目的以外にはいっさい使用しません。
このアンケートは無記名です。あなた個人の情報がもれることはありません。
アンケートにご協力いただけない場合でも、あなたに不利になることはありません。
回答に良い・悪いはありませんし、答えたくない質問には答える必要はありません。
途中で中止することもできます。

このアンケートに協力してもらえますか？（どちらかに○をつけてください）

はい

・

いいえ

もし、途中で回答をやめたくなった場合には、「はい」に×をつけ、「いいえ」に○をしてください。

ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

調査実施団体：認定NPO法人エンパワメントかながわ

内容をよく読み、以下の質問にお答えください。

【1】 あなたの性別を教えてください。()

【2】 あなたの年齢を教えてください。() 才

【3】 あなたは、今までに交際したこと（つきあったこと）がありますか？
どちらかにチェック☑してください。

☐ はい

☐ いいえ

【4】 【3】で「はい」と答えた方にお聞きします。
（「いいえ」と答えた方は、【5】に進んでください。）

あなたは、これまでに交際相手（つきあった人）から次のことをされたり、したりしたことがありますか？あてはまるものすべてにチェック☑してください。

行動の制限	他の異性と話をしないと約束する	☐ 言われたことがある	☐ 言ったことがある
	返信が遅いと怒る	☐ されたことがある	☐ したことがある
	一日の自分の行動をすべて報告させる	☐ されたことがある	☐ したことがある
	友人関係を制限する	☐ されたことがある	☐ したことがある
	スマホや携帯のデータを消す	☐ されたことがある	☐ したことがある
	服装や髪形を決めつける	☐ されたことがある	☐ したことがある
精神的暴力	バカ、死ねなど傷つく言葉を使う	☐ 言われたことがある	☐ 言ったことがある
	体型や容姿について嫌なことを言う	☐ 言われたことがある	☐ 言ったことがある
	別れたら死ぬと言う	☐ 言われたことがある	☐ 言ったことがある
	お前のせいだと言う	☐ 言われたことがある	☐ 言ったことがある
	理由も言わずに無視をする	☐ されたことがある	☐ したことがある
	大切にしているものをこわしたり、捨てる	☐ されたことがある	☐ したことがある
経済的暴力	デートの費用をいつも払わせる	☐ されたことがある	☐ したことがある
	貸したお金を返さない	☐ されたことがある	☐ したことがある
	無理やりお金を出させる	☐ されたことがある	☐ したことがある
	高いプレゼントを買ってほしいと言う	☐ 言われことがある	☐ 言ったことがある
	バイトを辞めさせる、あるいはさせない	☐ 言われことがある	☐ 言ったことがある
	別れるならこれまでのデート代を返せと言う	☐ 言われたことがある	☐ 言ったことがある

身 体 的 暴 力	つねったり、噛んだりする	☐ されたことがある	☐ したことがある
	壁に押しつける	☐ されたことがある	☐ したことがある
	殴る	☐ されたことがある	☐ したことがある
	蹴る	☐ されたことがある	☐ したことがある
	首を絞める	☐ されたことがある	☐ したことがある
	突き飛ばしたり、引きずる	☐ されたことがある	☐ したことがある
性 的 暴 力	嫌がっているのに体を触る	☐ されたことがある	☐ したことがある
	嫌がっているのにキスをする	☐ されたことがある	☐ したことがある
	嫌がっているのにセックスをする	☐ されたことがある	☐ したことがある
	避妊に協力しない	☐ されたことがある	☐ したことがある
	裸や性行為の写真や動画を撮る	☐ されたことがある	☐ したことがある
	裸や性行為の写真や動画を撮りたい、あるいは送ってほしいと要求する	☐ 言われことがある	☐ 言ったことがある

【5】デートDVについて、これまで自分がされたり、したり、見たり聞いたりしたことについて、どんなことでも書いてください。

ご協力ありがとうございました。

あとがき

やっと実態調査を行うことができた。

それが実感です。

2007年に内閣府の委嘱を受けた横浜市に協力して実施した「デートDVについての意識・実態調査」から早10年。

なかなか実態調査をできずに、古いデータを使わざるを得ない日々を過ごしてきました。

たくさんの方々にご協力をいただき、やっとデートDVの実態調査を行うことができました。

10代に対して全国規模では初めての調査結果として、社会に訴えることができます。

「デートDVはある」ということを。

こんなことまで暴力というのか？という批判もあるかもしれません。

調査方法として今後見直すべき点もあると思います。

でも、プライバシー等に最大限の配慮をしたとはいえ、周囲を気にしながらも、この調査項目にチェックをした人がこれだけいたということが結果です。

「返信をしないと怒る」「他の異性と話をしないと約束する」といった行動の制限から多くのデートDVは始まり、エスカレートしていきます。

被害に気づき、加害に気づくことができる予防教育の必要性をこの調査結果をもとに伝えていきたいと思います。

調査に協力いただいた中学生、高校生、大学生の皆さんと学校関係者や主催者の皆さん、そして、調査の実施にご協力いただいた公益社団法人ガールスカウト日本連盟、NPO法人DV防止ながさき、岩手県BBS連盟、NPO法人Safety First静岡の皆さん、調査の設計からご協力いただき考察をいただいた金沢大学人間社会研究域法学系准教授・棟居徳子さん、調査の設計および分析にご協力いただいた臨床心理士・赤羽麻衣子さん、集計や入力をお手伝いいただいたエンパワメントかながわの仲間たちに心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

2017年3月
認定NPO法人エンパワメントかながわ
理事長 阿部真紀

認定 NPO 法人 エンパワメントかながわ

どんな人も一人ひとりがとても大切な存在だと伝えていきたい…

暴力のない社会の実現を目指して、神奈川県内を中心に様々な人権啓発活動を行っている認定NPO法人です。「CAP（子どもへの暴力防止）プログラム」の提供を柱として、「デートDV予防プログラム」「すきっぷ（子どもの護身法）プログラム」「特別支援学級に通う子どもへの暴力防止（ほっと）プログラム」など、すべての人に人権があることを啓発していくためのプログラムを開発、提供しています。

団体ホームページ：<http://npo-ek.org/>

デートDV 白書 VOL.5

全国デートDV 実態調査報告書

発行：2017年3月

発行者：認定NPO法人エンパワメントかながわ kanagawa-cap-miracle@isis.ocn.ne.jp

本書の内容の一部あるいは全部を無断で複製複写（コピー）することは、著作権上で認められている場合を除き、禁じられています。本書のデータや文章などを引用する場合は、必ず出典を明記いただき、当団体へご連絡をお願いいたします。

「独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業」によって作成しました。

デート DV 白書

vol.5

全国デートDV 実態調査報告書

エンパワメントかながわでは、2016 年度独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業「デート DV 防止対策推進事業」の一環として、公益社団法人ガールスカウト日本連盟、NPO 法人 DV 防止ながさき、岩手県 BBS 連盟に協力をいただき、全国規模でのデート DV 実態調査を行いました。ここに、その調査結果を報告します。

デート DV 防止対策推進事業

デート DV を予防し、また被害を最小限に食い止めることで児童虐待の連鎖を断ち切ることを目的に、デート DV 防止に関わる様々な機関や団体が全国的なネットワークを構築することで、その実態を明らかにし、より効果的な防止対策を検討する。さらに政策や法整備について提言していくことで、防止対策を推進する。

認定 NPO 法人エンパワメントかながわ

目 次

I	調査の概要	P 1
1.	調査の目的	P 2
2.	調査の方法	P 2
3.	調査の内容	P 3～4
II	調査結果	P 5
1.	回答者の属性	P 6
2.	交際経験の割合	P 7～8
3.	デート DV の実態	P 9～15
4.	5 つに分類した暴力の被害経験における相関	P 16
5.	自由記述より	P 17～23
III	考察	P 25
	デートDV の実態から今後の課題を考える	
	— 予防教育と被害者支援の必要性 —	P 26～30
IV	資料	P 31
1.	説明書および誓約書（アンケートご協力をお願い） 付表 1	P 32
2.	同意書 付表 2	P 33
3.	質問票 付表 3	P 34～35
	あとがき	P 37

デートDV白書

VOL.5

全国デートDV実態調査報告書

発行：認定NPO法人エンパワメントかながわ
<http://npo-ek.org/>



独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業